

「パソコンを楽しく学ぶ、使いこなせるようになるまで」
 立ちます。
 ところが、遅々として進まず、使い古した脳みそには負担が重い。今日覚えたはずのものが、家に帰るともう分からなくなっている。「学問に王道なし」「ここは頑張るしかないのか。楽しくなければいい遠のいて使わないと忘れてしまう。この会を立ち上げた当初はそれを見込んで講座とか教室とか言わずに、今の「基礎講座教室」は「ゆつゆつすすむパソコン教室」「その上は」楽しく学ぶ「ICTサロン」「ICT」楽しく学ぶ「ICTサロン」呼ぶことにしていた。



これでいいの？ パソコン教室

会長 長尾康一

その基礎教室にいつまでもいたいという人が増えてきている。居心地がいいと思う。中には「出戻り」さんもおられる。人数が多くなると後の方は聞き取りにくくなる。

基礎教室に三十五名
 本来基礎というものは面白いものではない。野球でいえば、キャッチボール、素振り、シートノック、せいぜいミニゲームまで、早く本番の試合をしたいものだ。

ICT サロンだより

第58号 発行
 シニアネットはまだ
 代表：長尾康一
 Tel: 090-4570-5953
 平成30年9月

スクリーンは見えにくい。サポートもなかなか来ないので私語が多くなる。教室の適正規模は二十人以内だろう。



受講者適正化

- ・基礎教室は基礎に徹する
- ・ゆつくりと進める。
- ・中級教室は難度を下げる
- ・講師サポーターも長くやっていくとマンネリ化してきて、進め方で配慮が不足してはいないか
- ・テキストは基礎教室にふさわしいものであるか。

先日、新入会員研修会で、貴重なご意見を聞かせてもらったが、幅広く多くの会員の皆さんのご意見を聞かせていただきたい。
 みんなで、楽しく学ぶパソコン教室をつくっていきましょー！



【基礎講座受講者の声】

- 自分の知りたいことをゆつくり学べる
- 上にあがって難しいことをしても必要ない
- 自己流でしていたのもう一度基礎がやりたい
- 最低限必要なことだけでいい

運営委員をお受けして

総務部 田中 利生



今年二月から運営委員(総務部)を命ぜられました。

まだ入会して二年足らず、皆様にはご迷惑をおかけするばかりです。運営委員になると、月一回の委員会があります。会議では毎回、先輩の方々が、真剣に、熱心に討議されています。先輩方が、それぞれの業務の中で、悩み、工夫されながら取り組んでおられる様子が良くわかり、頭が下がる思いです。

前回の会議で、会長から「ハイフオワード」という言葉を伺いました。横文字が苦手なので「前払い」のことかと思いましたが、スマホで調べて「この世で受けた恩は、この世で返す」と同じ様な考え方で理解しました。私も「この会で教えていただいたことを、次の人に伝えてあげられたらいいなあ」と思っています。まだまだ新入生。今後とも、「指導をよろしくお願いします。」

地域貢献活動

黒川パソコン教室

講師・サポーターは、シニアネットはまだの会員、吉川さん・吉高さん・松尾さん・浅野さんです。

月に三回、第一・第二・第三土曜日に開催され二十四名が受講されています。

石見公民館で開催されている黒川パソコン教室も十一年を迎えられました。

新入会員のご紹介 (5月~8月)

依 桂子	中山 賢一	濱崎 勇	福田 直子	津島 妙子	吉岡 鈴江	佐藤 三男	加納 昭則	堀口 博子	富金原 裕美
------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

(敬称略)



石見公民館にて

まず黒川パソコン教室が発展されますように。

デジカメツアーのお知らせ (活動部)

日時：10月22日(月)
 行先：山口ゆめ花博
 参加費：5,800円
 山口県のオリジナル品種など約1,000万本の花が咲き誇ります。
 皆さんの参加をお待ちしています。

編集後記

●平成最後の夏は猛暑に見舞われたうえ、西日本豪雨災害、台風による被害、北海道胆振東部地震と自然災害の怖さをいやと言うほど見せつけられた。人ごとではない。日頃から災害に対する知識を身につけ早めの避難で危険を回避することが大切。

防災メールを登録しよう！

●おかげさまでサロンだより五十八号を皆さまのご協力のもと発行できますことを感謝いたします。(総務部 E)

グラウンドゴルフ大会 風の国 (6月8日) 参加者41名



優勝：村上 清志さん
2位：川上 仁さん
3位：宮崎 正臣さん



優勝 赤組



平成最後の今回は第十三回目で歴史ある集いです。受付で白いハチマキをいただき今年白組です。昨年は何組だったかな？思い出せぬまま開会式が始まりました。会長さんの「はしゃぎ過ぎてくれれば怪我のないように」のお言葉を念頭にラジオ体操で丁寧に体をほぐし、出陣です。皆が座るまもなくこの競技にも積極的に参加されておりパワフルで若々しく感じました。メデイシングポールでは、「次は上よ・下よと皆で声をかけ合いこれぞ熟年パワー、息がピッタリで無我夢中になって競技を楽しむことができました。



八月二十九日昨年に続き二回目の軽スポーツの集いに参加しました。

本田 眞理子

軽スポーツの集いに参加して

今年は残念ながら赤組が逆転勝利でした。役員の方々は、準備、進行にと大変お世話になり有難うございます。



準優勝 白組



顧問 金野和弘先生

講演会より



七月二十五日金野先生の講演会が行われました。参加者四十六名。

★スマートフォンの特徴

◇ その場ですぐさまさまざまな処理ができます。

◇ さまざまなセンサーが内蔵されています。

★スマートフォンでできること

- ① 今いる場所の情報が使える
- ② 動く速さの情報が使える
- ③ 方向や傾き具合の情報が使える
- ④ 音声認識ができる
- ⑤ カメラ機能が活用できる

★例えば内蔵カメラで撮った写真

◇ 記録する

*写真、日時、場所など

◇ 画像を認識する

*モノ(が何であるか)を認識する

*文字を認識する(OCR)

シニアにお勧め！ スマホでこんなことができる



- 自分にとっての「お気に入り」アプリを見つけましょう(インストールし過ぎに注意)
- 「こんなアプリあるかな?」と思ったら、まずは検索をしてみましょう
- お知り合いと情報交換をしましょう

◇ バーコードやQRコードを認識する
◇ 個人認証をする
*顔認証で解錠する
*指紋認証で解錠する

情報端末は最高の エンターテインメント

iPad教室 藤本 宏征



最近、浜田市内でも出かけた先でスマートフォンやタブレットを使っているシニア世代の人をよく見かけるようになりました。新しい情報端末を積極的に利用するシニアが多くなっている一方、「タブレットもスマートフォンも必要ない」と考えるシニアも多いです。確かにそれらが無くても生活する上で大きな支障はありません。しかし、「これらを使う人と、使わない人では、明らかに情報格差が生まれます。

求める機能は、情報収集、SNS、コミュニケーション、カメラ写真、映画下フタ、音楽、読書、テレビ、ネットショッピングなど様々です。最新ニュースやお知らせなどは、テレビやラジオよりも早くチェックできます。調べたい

ことは何時でもすぐに最新情報を検索できます。百科事典も辞書も必要ありません。使いこなせば、毎日新しいこととの出会いがあります。開けばそこにはいつも新しいものがあり、飽きることはありません。新しいことにチャレンジし、脳を飽きさせないことが老化防止に大切だと言われていますので、シニアには最適なツールと言えます。近い将来、パソコン、タブレット、スマートフォンの三つを一つにしたような情報端末が登場すると予想されています。その頃には、「あれば便利」なものから「なければ困る」ものになります。日々の買い物はもちろん、病院の簡単な診察、行政との連絡などもその機器で行えるようになると思いますが、そうなるまでにはいまだに思えないのが高齢者です。「早めに使いはじめようか」、「必要に迫られてから使う」かのどちらが良いのかは分かりませんが、新しい機器を使いこなすスーパーシニアは、心も身体もいつまでも元気でいられる気がしています。